



山本 忠司 (1923-1998) 香川県さぬき市出身

香川県の自然や歴史、文化を活かした作品づくりで知られる建築家です。学校などの公共建築を中心として、地元に残り添う作品を数多く残すことで、香川県の建築をリードしました。瀬戸内海を望む「瀬戸内海歴史民俗資料館」は名作として高く評価され、国の重要文化財に指定されています。

多田 善昭 (1950-) 香川県善通寺市出身

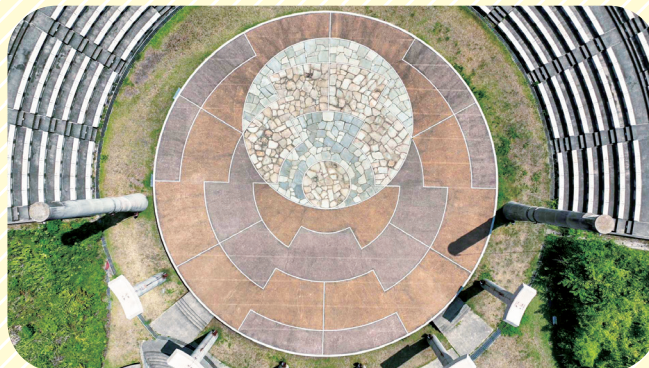
香川県を中心に全国で活躍中の建築家です。個人住宅から公共施設まで幅広く手がけ、まち並みや暮らしになじんだ「ものがたり」を大切に作品づくりを行っています。宇多津町のまちづくりや三豊市の本山寺五重塔の修理など、文化や景観を守る活動にも精力的に尽力中です。



山本忠司氏(左)と多田善昭氏(右) (中央は和泉正敏氏)

2025年8月のさぬき市における「瀬戸内国際芸術祭2025」を契機として、同市に所在する山本忠司氏の建築と壁画、さらに彼と親交のあった多田善昭氏が同市に建設した建築などを、同市の固有の魅力として、国内外へ広く発信してはどうかと考えました。そこで、香川県立志度高等学校並びに同石田高等学校の生徒と、高松大学・高松短期大学の学生が、各々の専門的な技術や知識などを活かした調査・研究を行い、両名の作品の魅力を明らかにしました。

この冊子は、高校生と大学生による調査・研究の成果です。作品の鑑賞にお役立てください。



この冊子は「令和7年度 大学・地域共創プラットフォーム香川」の「産学官共創チャレンジ支援補助金」を活用して、高松大学・高松短期大学が実施した「建築家・山本忠司の作品によるさぬき市の魅力向上事業」の成果品です。

ご協力いただいたみなさま

ドローン撮影・写真提供

香川県立志度高等学校情報学科コンピュータ部・多田善昭

地形測量・測量図提供

香川県立石田高等学校農業土木科

総括：西岡達哉(高松大学地域連携センター・高松短期大学ビジネスデザイン学科)

編集：中條里帆子・林奈々美・藤本愛可(高松大学発達科学部)

参画：多田善昭建築設計事務所・香川県立志度高等学校・香川県立石田高等学校・さぬき市・一般社団法人さぬき市観光協会

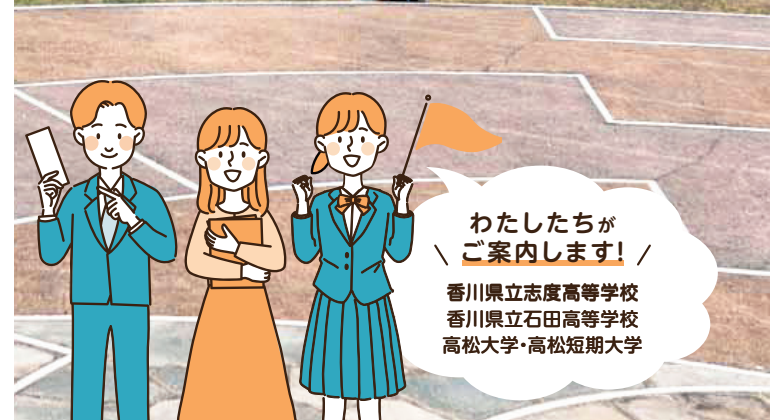
発行日：2026(令和8)年2月28日

発行者：高松大学・高松短期大学

印刷：新日本印刷株式会社



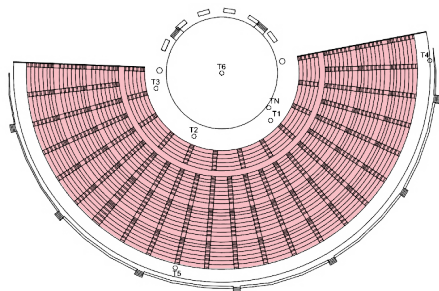
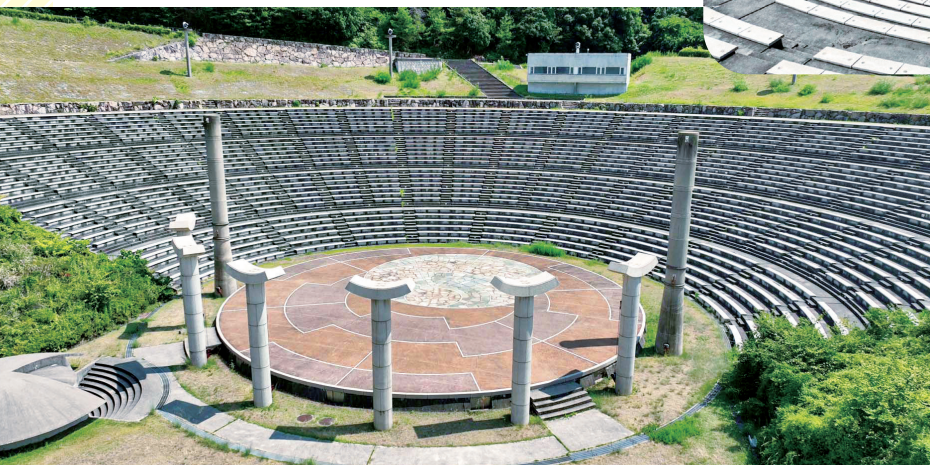
さぬき市の建築を みつけにいこう!



わたしたちが
ご案内します! /
香川県立志度高等学校
香川県立石田高等学校
高松大学・高松短期大学

さぬき市野外音楽広場 テアトロン

さぬき市の大串半島の自然の地形を活かした野外劇場です。瀬戸内海を望む開放的な空間で、舞台が海や山などの景観と一体となっている点が魅力です。オリンピックの出場経験をもつ山本忠司氏が、地中海沿岸の神殿建築に強い影響を受けて設計したと言われています。



さぬき市野外音楽広場テアトロン 測量図

香川県立 志度高等学校の 壁画

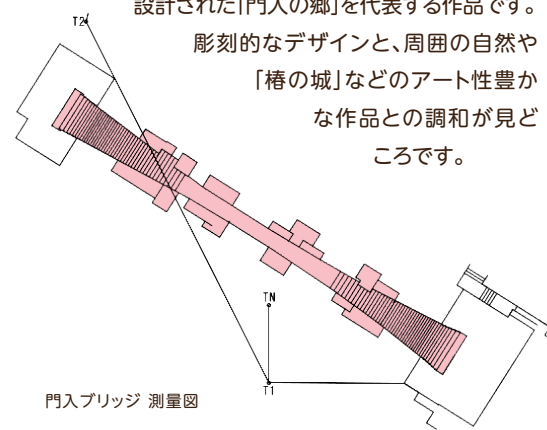
山本忠司氏が、建物を設計する際に地域性を大切にしていたことがわかる代表的な作品です。さぬき市の志度寺に伝わる「海女(あま)の玉取伝説」をモチーフとしてつくられました。色とりどりのタイルと割れ石の組み合わせは、生き生きとした高校生の学びと成長を象徴しています。



門入ブリッジ

多田善昭氏の「橋は渡るだけのものではなく、歩く、たたずむ、つなぐ、出会う…遊んだりすることができる所でなければならない」との考えにもとづいて設計された「門入の郷」を代表する作品です。

彫刻的なデザインと、周囲の自然や「椿の城」などのアート性豊かな作品との調和が見どころです。



門入ブリッジ 測量図

さぬき市に
魅力的な建築が
こんなに！

